

静岡県教育委員会
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和5年(2023年)
9月5日
火曜日
第263号

シリーズ

小中学校における働き方改革 最前線

本県では、「学校における業務改革プラン」を2022年3月に改訂し、「教育の質の向上」と「教職員の心身の健康の保持増進」を目的とした学校における働き方改革を推進しています。

令和5年度は、全小中学校の校務分掌に「業務改善『夢』コーディネーター」が位置付けられ、各校の課題に即したさまざまな取り組みがコーディネーターを中心に進められています。また、県教育委員会事務局

では、効果的に取り組むことができる「ペーパーレス化」に注目し、重点取り組みとして取り上げていきたいと考えています。

そこで、本号から「ペーパーレス化」などの取り組みをシリーズで紹介していきます。第1回は、市町教育委員会が先頭に立って学校を支援する取り組みとして、クラウドツールを活用し、ペーパーレス化や事務業務の削減に挑戦した三島市教育委員会の事例を紹介します。

三島市
教育委員会

kintoneを活用した学校の業務改善

はじめに

三島市教育委員会(以下、市教委)では、多くの自治体や企業で導入されているサイボウズ株式会社(以下、サイボウズ)の「kintone(キントーン)」を導入し、一定の成果を上げています。令和5年度から、年度当初に保護者や教員にとって負担となっている「家庭環境調査票」や「各種問診票」などの書類の提出・管理をICT化しました。その結果、1万枚のペーパーレス化、推計530時間の事務作業時間の削減が達成されました。

きっかけ

令和3年度経済産業省「未来の教室」実証事業の一環として、三島市の中学校が学校における働き方改革のモデル校に選ばれ、サイボウズによる教員のチーム化により実現する働き方改革の実証事業が行われました。サイボウズ担当者がGoProを使って教頭先生の業務を記録し確認したところ、驚くべき紙の使用量が明らかになりました。これをきっかけに、市教委に対しペーパーレス化が提言され、kintoneを実証事業の一環として導入する決断をしました。



修繕依頼業務の改善からスモールスタート

まず取り組んだのは、学校施設の修繕依頼業務の改善でした。これまでは、学校から市教委へメールでエクセルシートを送付し、校内では決裁用として印刷し保存していました。しかし、この仕組みは教員や市教委にとって負担が大きかったです。そこで導入されたのが、kintoneによる修繕依頼アプリです。このアプリにより、作業時間の削減だけでなく、修繕箇所の見落とし防止や修繕の進捗確認が容易になるなど効果が上がりました。

【改善前】

教員		教員は破損箇所をデジカメで撮影。
教員		画像をパソコンに取り込み、Excelの様式に貼り付けて依頼書を作成し、メールで送付。
教育委員会		対応履歴は電話やメールでやりとり。都度対応で過去の依頼情報はまとまっていない。

【改善後】

教員		修繕依頼をタブレットから入力。iPadで撮影した画像を直接取り込める。
教育委員会		修繕依頼が登録されると自動的に通知される。依頼内容に沿って、修繕の手配を行う。過去の依頼も一覧にまとまる。

修繕依頼
業務の改善

保護者も学校も楽に

さらに、家庭環境調査票や各種問診票などの提出・管理に関する業務の改善にも取り組みました。これまでは保護者に複数の帳票を配布し、後日提出してもらっていました。回収後、教員がシステムに手入力して管理していたため、年度当初の業務として保護者も教員も非常に負担がかかっていました。そこで、外部連携サービスを活用し、保護者には家庭環境調査票などをオンライン入力していただき、入力された情報を教員がkintoneで確認できるようにしました。このシステムの導入により、約1万枚の紙の使用が削減され、教員の作業時間も推計で530時間削減されました。

引用元：2023年5月26日サイボウズ(株)ニュースリリース <https://topics.cybozu.co.jp/news/2023/05/26-18449.html>

現場の声

この取り組みに対して、現場では「情報の検索が容易になり、入学児童の情報や配慮事項を確認しやすくなった」「記入漏れが減少した」「ファイリングの手間が省けた」「破損や紛失リスクがなくなった」など、事務作業の削減だけでなく、管理のしやすさなどを実感したとの声が上がっています。一方で、「大規模災害による停電や通信障害などの緊急対応時に、すぐに情報を確認できない」などの意見もいただいています。

現状に満足しない

ただし、改善の余地はまだあります。例えば、学齢児童届出書や転出入による学齢名簿の異動処理に対応する、kintoneアプリのアップデートを進めています。また、備品管理や不用品/バンクアプリなども、今後運用していく予定です。

おわりに

市教委では、「児童生徒の幸せ＝働く教員の幸せ」というモットーを掲げており、教員の願いである「長時間労働から解放されたい」「児童生徒と向き合う時間を増やしたい」「家族やプライベート、自己研鑽に割く時間を増やしたい」という希望を実現するために、働き方改革をさらに進めてまいります。

実践NOTE⁵²³

今だからこそ、求められるもの ～特別支援学校での経験を生かして～

静岡県立湖西高等学校 教諭 横山 貴春

特別支援学校で学んだ、私の原点

講師、初任校として合わせて4年間、特別支援学校で勤務した中で、私が学び、今でも原点としているのは“生徒たちをよく見る”ことです。生徒一人ひとりがどのような背景を持ち、どんな強みがあり、何に課題を感じているか、それらをつかみ、個別の支援に落とし込んでいくことを心掛けていました。しかし、その生徒がもっている力を最大限に発揮できるような環境、教材、言葉掛け、教師同士の連携は、上手くいくことばかりではありませんでした。悩みながらも実践と省察を繰り返し、何度も同僚とケース会議をした経験は、今でも忘れられません。現在の勤務校でも、生徒たちをよく見て、その子たちの力を最大限に発揮させるためにはどうすれば良いかを考えて実践する、その原点は変わっていません。

個に応じた支援のための「ケース会議」

本校では、分掌とは別に「教育相談室」があり、2週間に1回のペースで相談室会議を行っています。その会議では、各学年の教員により、生徒の学校・家庭での様子、欠席や遅刻の要因、困りごとや課題などが話し合われます。必要に応じて、学校全体で共有します。個別の支援が必要であると考えられる生徒については、昨年度からケース会議を行う取り組みを始めました。関係する教員への助言、効果的な手立ての提示、保護者への協力依頼、外部との連携などにより、個に応じた支援を行っています。

HRNO ()	を 用 意 ()
○子どもの困りごとや悩み	
○長期目標(問題が解決した時)	
○事例の報告(支援体制、本人の様子、情報、事実、中学校からの引継ぎ、医師の診断、スクールカウンセラーへの相談の有無など)	
○解決のための手立て(今後のことだけでなく、以前にやったことや、その結果も含む)	

ケース会議の資料

個別配慮の視点を授業へ

保健の授業では、個に応じた配慮を心掛けています。ユニバーサルデザインフォントや色覚多様性の生徒にも見えやすい色を使用しています。認識しやすい文字や配色により、生徒の理解度が高まります。

視覚優位や聴覚優位といった特性を持つ生徒に対して、どちらにも分かりやすいように、スライドを提示するだけではなく「ゆっくり」「はっきり」「端的に」説明することも意識しています。



パワーポイントの提示例(暖色と寒色の組み合わせ)

誰もが「学びひたれる授業」を目指して

背景、強み、課題…すべてが一人ひとり異なっています。多様な生徒が、優でも劣でもなく、自分の力を最大限に出し切り、ひたすらに学びひたれる授業。教員もひたすらに教えひたれる授業。私が出会った本の一部分ですが、強く胸を打たれました。そのためには、生徒たちをよく見て、生徒たちが学びひたれる場を提供することが求められます。私は特別支援学校での経験を生かして、そのような場を提供できる教員になりたいです。



生徒と同じ目線で見るために、「一緒にやる」

●『大村はま 60 のことば 優劣のかなたに』
刈谷夏子・筑摩書房・2007,p.223-226.

実践NOTE⁵²⁴

全盲や弱視の赤ちゃんの家族に寄り添う指導

静岡県立沼津視覚特別支援学校 教諭 柏木 雅章

「進んでも進んでも光の见えない、真っ暗なトンネルに1人で置いて行かれた感じがしていた。」見えにくい乳児を育てた、あるお母さんが来校前に感じていたという言葉です。全く見えないのか？少しずつ見えるようになるのか？光も感じられないのか？どうやって赤ちゃんに触れ合えば良いのか？ご家族は分からないまま不安の中で過ごします。

教育相談・超早期指導教室とは

視覚特別支援学校の教育相談・超早期指導教室では、乳児期の指導を教員と乳幼児期発達支援指導員が協力して行います。最初の役割は家族の気持ちに寄り添うことです。初めての電話では、電話をしてくれたことを感謝し楽しみに待っていることを伝えます。来校時には、赤ちゃんをかけがえのない唯一の存在として可愛いと認め、家族にその気持ちを伝えます。継続して通う中で子どもの成長を引き出すことで、見えなくても、見えにくくても、成長する力があることを家族が実感できる



2か月の乳児初来校:筆者



ライトに手を伸ばしている

ようにします。見えない、見えにくい乳幼児の成長を促すには、さまざまな方法と適時性があります。①興味関心を引き出し何でもやってみようという気持ちと、見る力を伸ばす指導、②触覚などの視覚以外の感覚も活用する指導、③見えにくさを補う言葉と概念形成の指導、④安心して遊ぶための環境設定が大切です。それらを専門的な見地から保護者に伝え、赤ちゃんと実際に遊ぶ中でそのコツを見てもらいます。赤ちゃんにとっては遊びの中で、保護者に向けては遊びを見せる中で関わり方のコツを知ってもらいます。

乳幼児期から将来へ

乳幼児期の成長は生涯にわたる基盤になります。乳幼児期に一度でも来校してつながりがあると、その後、地域の園や学校に在籍しても、定期的な来校や困った時の連絡がしやすくなるようです。乳幼児期からはじまり成人期まで、子どもや家族と共に学び成長できる。そんな指導を、県内に視覚特別支援学校が3校あるメリットを活かし実践していきます。



乳幼児期発達支援指導員

絵を見つめる乳児と筆者

話そう、やさしい日本語。

「やさしい日本語」を知っていますか？

「やさしい日本語」は、難しい言葉を簡単な表現に言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。外国人、子どもやお年寄り、障がいのある人など、さまざまな人に役立つ表現方法の一つです。県では、「言葉の壁のない静岡県」の実現をめざし、「やさしい日本語」の普及啓発に取り組んでいます。

動画

「話そう、やさしい日本語。」

話そう、やさしい日本語。
しずおか県 静岡県

「やさしい日本語」の
考え方がわかります。



教育現場でも「やさしい日本語」を

「やさしい日本語」はさまざまな場面でコミュニケーションの手助けになります。外国人の保護者や児童生徒が、学校からのお知らせをきちんと読んで理解するのは大変です。多言語への翻訳にも限界があります。学校からのお知らせも、ふりがなをふったり、簡単な言葉に言い換えたり、図や表などで見やすくすると、伝わりやすくなります。



「やさしい日本語」の作り方

「やさしい日本語」の作成には、コツがあります。静岡県が作成した「やさしい日本語の手引き」などを参考に、「やさしい日本語」を使ってみてください。多文化共生課のホームページでもダウンロードできます。

ホームページはこちら ▶▶▶



やさしい
日本語への
変換例

御来校ください。

がっこう 学校に きて 来てください。

弁当を用意してください。

べんとう 弁当を も 持ってきてください。

【多文化共生課】

ねえねえ、齊藤さん ゆうゆうポイントラリーってなあに？



齊藤です♪



簡潔に言うと…

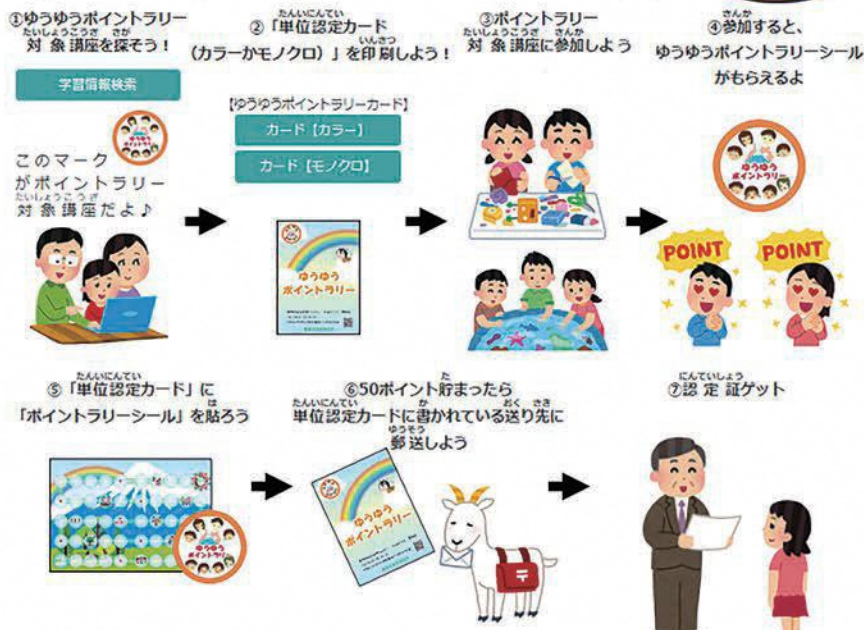
「まなぼっと」に掲載されている、ゆうゆうポイントラリー対象講座に参加してポイントを貯めると、**県教育長から認定証が発行される事業です！**

対象はだれ？

県内に在住または在学する小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校及び高等専門学校の児童・生徒が対象です。

【ゆうゆうポイントラリーに参加しよう♪】

図で説明



詳しくは、以下二次元コードから【「まなぼっと」ゆうゆうポイントラリーについて】をご覧くださいか、以下問い合わせ先へ、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先

総合教育センター 総務企画・ICT推進課
生涯学習推進班
TEL: 0537-24-9715
E-mail: kouza@manabi.pref.shizuoka.jp



【総合教育センター】

ご存じですか？ 「ふじのくにiマップ」

ニート・ひきこもり・不登校などで悩んでいる子ども・若者やその家族の支援に関わっている、静岡県内の支援団体・相談機関などを紹介しています！



アイマップ



- 相談・居場所・就労支援 22 団体掲載
- 親の会・家族支援 6 団体掲載
- 学習支援 17 団体掲載
- 就学及び通信制高校等 34 団体掲載
- 県・市町の相談機関・支援機関の連絡先 多数掲載

- うちの子、不登校の経験があるけれど進学や就職は大丈夫かしら？
- 先日の面談で、うちの子落ち着きがないって言われたけれど…



保護者

そんな時は、合同相談会がおすすめです！

ふじのくにiマップ掲載団体と個別に相談ができる「**合同相談会**」を開催しています。どなたでも参加できます。参加団体・各会場詳細情報は、県ホームページでご確認ください。



詳しくは
はこちら



先生

問合せ先

静岡県教育委員会 社会教育課 青少年指導班
TEL: 054-221-3305



【社会教育課】

県政出前講座 実施中!

～みんなで出前講座に参加して地域の愛着を深めませんか～

学生・生徒に県政に対する理解や居住地域に対する愛着を深めていただくため、県職員が直接伺い、県の施設や事業についてわかりやすく説明します。

「教育と実社会の結び」、「公共・地域の学び」、「総合学習のメニュー」としていかがでしょうか?



防災出前講座での一枚

■ 参加した学校からは、こんな感想をいただいています!

対象の年齢に合わせて工夫して説明してくださり、分かりやすかった



■ 申し込みはコチラ

「ユニバーサルデザイン講座」がとても人気です!



【広聴広報課】

未来を担う子どもたちへ ～ 租税教育 ～

静岡県では、租税教育推進協議会の一員として、児童・生徒に税の意義や役割を理解してもらうため、職員が講師となって租税教室を開催しています。昨年度は、県内529校で租税教室を開催しました。

静岡市内の小学校で7月に開催した租税教室では、税金の必要性をアニメなどで説明しましたが、なかでも1億円のレプリカは大人気で、子どもたちは興味津々でした。

令和5年11月以降、租税教育推進協議会から各学校(小・中・高)に租税教室開催希望アンケートを送付させていただきます。より多くの学校で租税教室が開催できれば幸いです。ご希望お待ちしております。



1億円のレプリカにくぎづけの児童(静岡市内小学校)

各学校のご希望の時期に合わせて開催しております!



【税務課】

学科が変わります!

(令和6年度静岡県立高等学校学科改善)

学校の一層の魅力化推進や地域のニーズ等を踏まえ、県教育委員会では、来年度、下記の学科改善を行います。

この学科改善により、掛川工業高等学校では社会の諸課題の解決を試み、工学の理念の実現を図ります。

特に電子機械科と電子電気科は、電気(強電)系と電子(弱電)系の学びを両立できる「電気電子工学科」に改善し、高校1年で電気と電子を一体化して学んだ後、2年から類型別に分かれて専門性を高めます。

学校名	改善前	改善後
掛川工業高校 (全日制)	機 械 科	機 械 工 学 科
	電 子 機 械 科	電 気 電 子 工 学 科
	電 子 電 気 科	
	情 報 技 術 科	情 報 工 学 科
	環 境 設 備 科	建 築 設 備 工 学 科

【高校教育課】

手作りハロウィン

家族や仲間と一緒にカボチャのランタンを作ってみませんか。

日 時	10月29日(日) 午前の部 午前9時15分から11時30分まで 午後の部 午後1時15分から3時30分まで
場 所	静岡県立焼津青少年の家
定 員	家族や仲間9組(1グループ6人まで) 小学生以下は保護者同伴
費 用	650円程度/1個(創作活動費)
申込期間	9月13日(水)正午から9月28日(木)午後1時まで



申込方法

静岡県立
焼津青少年の家
ホームページ



【焼津青少年の家】



静岡県委託 令和5年度 介護サポーター育成事業「介護に関する入門的研修」のご案内

参加無料

広告

あなたの好きなこと、できることを活かして働いてみませんか?

介護の周辺業務が学べる3日間の研修です。希望者には、介護の周辺業務のお仕事をご紹介します!

週1日・1時間
からできる
お仕事です。

まずは説明会に
ご参加ください
(要予約)

9/6(水)・12(火) 10:30~
開国下田みなと 会議室1
下田市外ヶ岡1-1
※都合のつかない方も、個別に対応させていただきます。

10/25(水)・27(金) 14:30~
浜北文化センター 第5会議室
浜松市浜北区貴布祿291-1

1/19(金)・23(火) 10:30~
シグマカレッジ静岡校
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

■ 研修日程 ■
3日間・9:30~17:30

10/2(月)・10(火)・17(火)
開国下田みなと 会議室1
下田市外ヶ岡1-1

11/21(火)・28(火)・12/5(火)
浜北文化センター 第5会議室
浜松市浜北区貴布祿291-1

2/13(火)・21(水)・28(水)
シグマカレッジ静岡校
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F



東海道シグマ

運営: 株式会社東海道シグマ 地域福祉支援事業部
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

お申込みは電話・Webサイトにて受付中

TEL 054-255-4259 受付: 平日9:30~17:30

東海道シグマ介護

